

県道 708 号(秦野大井)篠窪バイパスの開通後の交通状況の変化

県道 708 号(秦野大井)は、秦野市内の国道 246 号から大井町内の県道 77 号(平塚松田)に至る延長約 6.1 kmの路線であり、秦野市と大井町を結ぶ唯一の幹線道路です。

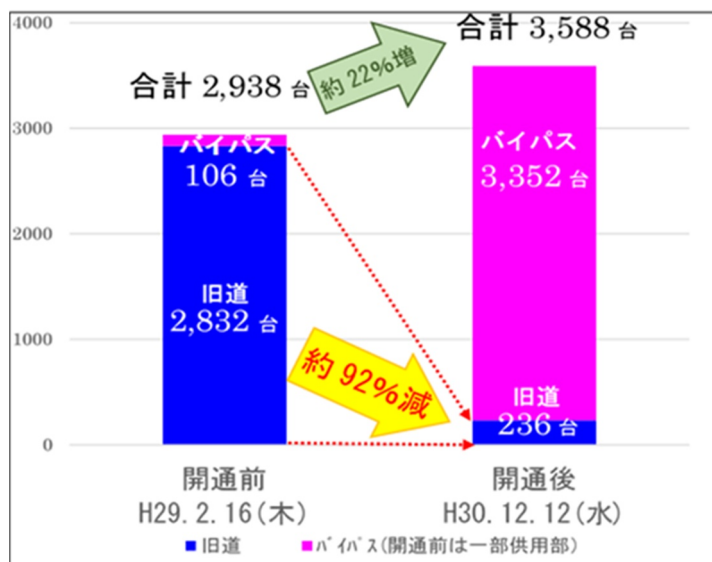
本路線は、国道 246 号の迂回路として朝夕には通過交通が増加していますが、大井町篠窪地内では、幅員狭小で線形も屈曲しており人家連坦の区間もあるため、バイパス整備を進め、平成 30 年 3 月 10 日に開通しました。



旧道の交通量が減少し、バイパス道路へ転換されました。

- ・旧道の交通量が、バイパス開通前に比べ、約 92%減少しました。
- ・路線全体の交通量が、バイパス開通前に比べ、約 22%増加しました。

交通量は、平日 12 時間(7:00 ~ 19:00)の交通量



○地元住民の声

篠窪地区の生活道路でもある旧道沿いに住んでいるが、交通量が大幅に減って、歩行者や自転車が安全に通行できるようになった。

○通勤利用者の声

通勤で利用しているが、道幅が広いバイパス道路が整備されて、すれ違いのストレスがなくなり快適に走れるようになった。また、通勤時間も短縮されて便利になった。

○地元自治体(大井町)の声

昨年 4 月に、未病バレー「ピオトピア」がオープンしたが、バイパス道路を利用して秦野方面から訪れる人が、日を追うごとに増えている。